

平成24年度 第2回学校関係者評価報告書

鳥取県立米子高等学校
学校長 末次 壽也

評価日	平成24年11月1日(木)	
	評価・提言	学校の所見・改善策等
1. 今年度の自己評価について		
(1) 重点目標の達成状況		
① 学校改革の推進 [産社の内容変更について]	・新しいものを導入すると戸惑いが生じるもので、授業者自体が悩んでいたりしないか。意見交換などが必要だし、授業者の持ち味が出るものになることを期待する。 ・教員としてのキャリアがあって伝わるものもあり、自己開示が必要な面もある。 ・図書館の蔵書についてもキャリア教育に見合うものが増える必要がある。	単なる職業選択教育から取り組みを変えたので難しくなっている。無理があるもの、ずれがあるものを修正していくつもりである。
② 基礎的な学力の向上と能力・個性の伸張 [授業評価について]	・個別の集計を統計処理され、生徒の受け止め方がよくわかった。	今後も継続していきたい
④ 基本的な生活習慣の確立と地域貢献活動の推進 [遅刻対策の取り組みについて]	・改善され本当に良くなっていっていることが実感できる。	さらなる減少に向けて取り組みたい
[掃除について]	・時間割編成の関係で掃除が2日に1回になったのはやむを得ないかもしれないが、もう一工夫して、整理整頓させる時間なりをもってはどうか。	検討したい
(2) 説明公表について [評価全般について]	・教員個人個人で評価した取り組みは非常によいやり方だった。 ・全体として辛口の自己評価の印象。やはりプロは自分自身を厳しく見るものだと言うことが伺える。	
2. 学校運営への提言 [バスの積み残しについて]	・冬場のバスの積み残しの発生に何か対策は出来ないのか。	5分始業が早まって、1便に乗る生徒が増えたのと、教員が乗り場を見に行って、積み残しが出た場合は全体に連絡し、公欠の措置をとっている。
[朝読書について]	・あとで感想を発表し合ってみるなり、フィードバックの取り組みも考えてみてはどうか。	